

「コンパクトライフ・プロジェクト Compact Life Project」

インタラクティブメディア学科 野口靖 Yasushi Noguchi



本プロジェクトは、「人間が尊厳を持って暮らせる必要最小限の生活とは？」という問いを巡る旅の過程である。

2011年3月11日の東日本大震災から現在までの日本の変化の中で、ひどく気になったことがあった。震災直後は停電や原発事故を契機としてエネルギー問題が盛んに議論された。その際にはエネルギーの大量消費を反省し生活スタイルを変え、持続可能な社会を目指す機運が高まったかに見えた。照明や空調も制限して省エネルギーに努める企業や個人も多く、日本は「省エネルギー社会」に舵を切ったように見えた。しかし、現在はそういった考え方は殆どの人の頭の中から消えてしまったようだ。震災前の消費社会に逆戻りしてしまったのである。こうもあっさりと手のひら返したように戻るものか・・・とあっけにとられてしまった。これらの経験から、「どこまで最小限の生活や居住空間で人は幸福に暮らせるのか」ということがずっと気になっていた。

本プロジェクトでは、ケニア・日本・スウェーデンの全く事情が異なる環境で、コンパクトに生活する人々の暮らしぶりを探る予定だが、今回は、ケニアと日本の事例を展示する。

この試みが、もう一度エネルギー問題や生活環境問題を再考する契機となれば嬉しい。

特別協力：小田珠生・椎野若菜

web サイト：http://r-dimension.xsrv.jp/projects_e/compact_life/



地域の集会的記憶や隠蔽された社会構造をテーマに、マッピングなどの手法をもちいたプロジェクトを多く手がけている。

武蔵野美術大学助手を経て渡米。2003年 ニューヨーク大学大学院修了。文化庁芸術家在外研修員。2004年 ポーラ美術振興財団在外研修生としてニューヨークにて活動。2008年 SIGGRAPH Asia 2008 出展。2009年 アルス・エレクトロニカ Honorary Mention 選出。2013年 第5回恵比寿映像祭出展。2015年 文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品選出など。

